

前回のプログラム報告で下記の様な事を書きました。

『唯一残った課題は中継所の名前です。これはファミリーからも要望が出ましたが、無味乾燥な数字ではなく、血の通った名前にしたいと云うことで、次回までの宿題と云うことになりました。』

これは SONS 駅伝の三ヶ所の中継所を『第一中継所、第二中継所、第三中継所』と呼んでいたことに関する記述ですが、確かにこんな名前では何処に在るのかさえ分かり難いし、第一親しみが持てません。其処でこんな名前を考えてみました。

第一中継所→ふれあい橋中継所

第二中継所→ふじだな中継所

第三中継所→レンタサイクル中継所

これなら憶えやすいし間違えようもないでしょう。特に異論が無ければこう変えてみてはというわけで、今回の配布プリントはこの中継所名で作り直しました。

そして立ち上がりのウオーキングですが、アスリートには配布プリントを手に、中継所を探しながら歩いてもらいました。一方私の方は自転車をフル活用して中継所に先着してウオーキングの集団を待ち、必要な説明を加えて再スタートしてもらいます。と、こんなことの繰り返しでウオーキングを終わろうというわけです。

さて本番。温水プールの前(ふれあい橋近く)のベンチに座って待つ私の視界に真っ先に飛び込んで来たのは一緒に練習しているサッカーのN君でした。

N君の直ぐ後ろには彼をマークするように大坂PCが付いて来ます。そして私の前を素通りしたN君を呼び戻してくれました。頼んでおいたわけでもないのに。できる奴です。

此処で私は手短に、目の前の橋がふれあい橋であること、橋の手前の白線がジョギングコースの 100mラインで、このラインが駅伝のスタートライン兼ゴールライン兼中継線になること、駅伝当日は目の前のログハウスに受付が置かれること等を説明して再スタートしてもらいました。

集団が遠ざかるのを見て、私は噴水池の辺(近道になる)を通って藤棚に向かいました。待つほどもなく集団がやって来ました。今度も先頭はN君です。少し後れて大坂PC、そしてウオーキングの本隊が続きます。

私に気付いたのか気付かなかったのか、今度もN君は私の前を素通りしました。慌ててストップをかける私に大坂PCも協力してくれました。所が今度は効き目が有りません。K君のお母さんが解説します。

「N君得意のマイペースですね」

其処で私は大急ぎで此処が藤棚中継所であること、目の前の白線(ジョギングコースの 600mライン)が中継線であることを説明して再スタートを指示し、自転車を飛ばしてN君を追いました。

N君に追付いたのは噴水池の辺でした。次の中継所まで 200 メートル。余裕で彼をパスしてレンタサイクル中継所の予定地に着きました。そしてコース横に自転車を停めながら考えました。この先には横道も多い公園の出口も近い。

「N君が今度も素通りするようならコースに飛び出してでも止めなくちゃ」

所が程なく近付いて来たN君の直ぐ後ろには大坂PC、阿久沢PCを始めとするウォーキングの本隊が続いていました。つまりN君は本隊に飲み込まれようとしていたのです。屹度どこかでスロウダウンしたのでしょう。得意の気まぐれ(?)

こっちには好都合な気まぐれに恵まれて、手間隙かけずに纏まった集団を前に、此処に作る中継所の名前の由来について一言

「見た通り、この中継所はトイレの真ん前に在ります。でも便所中継所じゃねエ～」

見事に滑りました。受ける積りの冗談が滑ったところで再スタートして出発点に戻りました。

ウォーキングの後は 2000mを走り、その後参加した八人に三上コーチを加えた九人で襷の受け渡しをしながら冒険広場を周回するリレーを走り、最後は大坂PCのリードで体操をして、十一時三十分、気温が 5 度未満と云う寒いプログラムを終わりました。

中 村 泰 雄

注: 一部人名をイニシャルに変換して掲載しております。